

高野新聞

Vol.130



たかの
高野 たけし

無所属 53歳

逗子市議会議員（7期）

・議会運営委員会

・教育民生常任委員会

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

市民の皆様から頂いたご意見・ご要望をもとに行った、令和8年第2回定例会における一般質問の一部をご報告いたします。

◆自然災害への備えは万全に

6月3日の台風接近時、前日には進路、風速、降水量の予報が出ていたにも関わらず、学校側の判断が各家庭へ伝えられたのは当日の朝6時と遅く、市民の方からは対応に苦慮したとの声も届いています。そこで、今回のケースを検証し、基準の見直しを行っていく考えがあるのか教育委員会の見解を求めたところ、気象庁から示された新たな気象基準に加え、現在の気象状況の特徴や本市の地理的環境なども踏まえ、校長会と連携して新たな基準を協議していくとの答弁が教育長よりありました。

また、災害時における避難所及び在宅避難者に対する医療・保健体制について確認したところ、避難所では外部支援医療者の協力を得て巡回診療を実施する計画であるが、在宅避難者に対しては医療救護所以外の地域医療の課題として今後検討していくとの回答が市長よりあったところです。

いざという時への万全の備えがなされるよう、引き続き課題の洗い出しと対策強化に努めてまいります。

政治資金の残り

145,603円

（令和8年4月～5月の内訳）

収入…給与から

100,000円

◆児童生徒の安全とより良い学習環境を確保するために

本市の市立小中学校は1960年代もしくは1970年代前半に建築されたものが多く、それぞれ大規模改修は行っているものの老朽化が進んでいます。こうした状況に対し、教育委員会は市立小中学校の適正規模・適正配置を見極めた上で再整備に移るとしていることから、この検討にはどの程度の時間が必要だと考えているのか質したところ、教育長からは基本方針→基本計画→整備指針の順で策定していくが、5年程度の時間を要すると考えている。その後、個別施設の整備計画に取り掛かることになる旨の回答があったところです。

再整備までの十分なメンテナンス、そして一日も早い学校施設の再整備に向けて、教育委員会をはじめ関係各所と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

学校施設	建築	耐震補強	大規模改修
小坪小学校	1966年	1999年	2015年
久木小学校	1968年	1998年	2016年
沼間小学校	1973年	2001年	2013年
池子小学校	1974年	2002年	2007年
逗子小学校	2004年	-	-
逗子中学校	1972年	2000年	2018年
久木中学校	1974年	1998年	2011年
沼間中学校	1989年	-	2015年

～ Topics ～

11月からの開始に向け最終調整へ!!

資源化処理施設の資本費と生ごみの処理費が確定し、搬入の平準化と年末臨時収集時の対応についても葉山町との協議が整ったことから、11月より生ごみの分別収集・処理を実施する方向で最終調整に入りました。

集められた生ごみはどーなるの？

①逗子市内で収集された生ごみは、葉山町の資源化処理施設へ。



②施設に運び込まれた後は破砕袋機に投入し、生ごみと袋を分別。



③生ごみは施設内の堆肥と混ぜ合わせることで、分解・発酵を促進。



④32日間で堆肥化。生ごみは投入時の約3%の体積となり肥料に。



学校が合わないと感じたら…

体験学習施設スマイルに、学校が合わないと感じている親子のための相談室を開設。夏休み期間を除く、第1・第3木曜日、第2・第4月曜日に定期開催されており、費用は無料となっています。参加方法は対面またはオンラインとなっており、各日とも午前中に3枠(各回50分)設けられています。

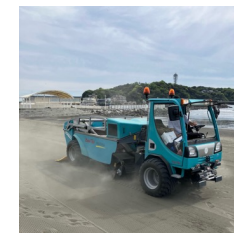
※空き状況の確認・予約はこちらから。



砂中のごみも一網打尽!!

片瀬西浜にて、Beach Tech MARINAのデモンストレーションを見学。Beach Tech MARINAはビーチの砂を掻き上げながら進み、砂だけをふるい落としつつごみだけを車輻後部のボックスに回収する自走式ビーチクリーナーで、現在は日本全国からの依頼に応える形で稼働しているとのこと。

車輻本体が高価な上、メンテナンス費用も高額になることから市単独で保有する事は難しいですが、神奈川県主体で活用することになれば逗子海岸で見られる日が来るかもしれません。



あなたの声を高野たけしへ

送り先

Tel / Fax: 046-871-7368

E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp

高野たけしの活動
報告はこちらから

